

団体情報	
団体番号	19
団体名	不昧流茶道部
所属人数（前年度）	8人

※この報告書は、学生支援課のHPを通じて学外にも公開されるとともに、サークル棟の継続使用の判断材料として利用されます。

別紙の記入要領を参照の上ご記入ください。

活動報告	活動目的	団体の結成目的や活動の目的・目標などを記載してください。 松江の伝統文化である不昧流茶道に親しみ、その作法や精神を学び継承していくとともに、学内外での活動を通して地域文化の発展に貢献すること。
	活動内容	Ⅰ. 前年度の活動内容について記載してください。 ①通常の活動 週1回の稽古を行い、月に1、2回は外部講師の先生宅でも活動を行った。稽古ではお点前の練習を中心に行った。新入部員に対しては、上回生がお手本を示しながら指導を行い、一連の流れを通して練習するだけでなく、動作を細かく区切って確認するなど、理解しやすい指導方法を工夫した。また、限られた活動時間の中でも効率よく稽古を進められるよう、部員同士で積極的に教え合いながら活動した。経験者が初心者へ指導を行うことで、教える側も作法や所作への理解を深められた。先生宅での活動では、実際の茶室に近い環境で稽古を行うことで、お点前以外の客人の動きや道具の知識など、より実践的な内容について学んだ。 学祭では、お茶席形式で抹茶と和菓子を提供し、多くの来場者に茶道文化・不昧流茶道に親しんでもらうことを目的として活動した。来場者に興味を持ってもらえるよう、ポスターを作成・掲示して広報を行うとともに、初めて茶道に触れる人にも気軽に楽しんでもらえる雰囲気づくりを意識した。 一方で、部員数が少なく、2日間を通して参加できる部員が限られていたため、運営面では課題があった。そのため、先生や卒業生にも協力を依頼し、活動を行った。部員内でも役割分担を行い、お点前や接客を協力して担当した。また、学祭に向けて夏季休業期間中も部活動を行い、本番で円滑にお茶席を運営できるよう技術向上に努めた。    ②社会や地域貢献活動 松江城大茶会では、おもてなし茶席に参加し、来場者へお茶や和菓子の提供を行った。また、島根大学の裏千家茶道部や地域の高校茶道部と協力しながら運営を行い、他団体との交流を深めた。大学生が裏方、高校生が接客を担当するなど、それぞれの役割を分担しながら活動を行い、地域全体で茶道文化を支える経験につながった。これらの活動を通して、不昧流茶道の文化継承だけでなく、地域との交流や伝統文化の発信にも取り組んだ。

			金額（円）	備考（内容等）
収支報告	収入	繰越金	¥162,007	
		入部(会)金	0	0円／人（年額）
		部(会)費	¥7,000	2000円／人（年額）
		サークル援助金（学推会より）	¥15,000	
		活動・イベント収入	¥54,064	凧風祭
		寄付金	¥26,000	Giving Campaign2025
		スポンサー収入	¥0	
		その他	¥0	
		収入合計	¥264,071	
	支出	備品等購入費	¥87,957	
		施設等利用料	¥0	
		大会等参加費	¥10,000	
		広報活動費	¥0	
		交際費	¥0	
		交通費	¥0	
		その他	¥0	
		支出合計	¥97,957	
	差引収支		¥166,114	次年度への繰越金

※年間の収支を記入してください（昨年4.1～今年3.31）

希望する支援や要望事項※	大学に対する支援や要望	
	学外の団体等への要望	

※経済的支援だけでなく施設利用などの要望でも構いません。なお要望には具体的な理由もお書きください。